

## 目標達成計画

作成日: 令和 3 年 1 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現状、看取り自体にうちは、研修や、実際施設内での看取り発生時実体験や経緯についてカンファレンスの機会を設けるが、看取り後の職員の精神的ケアについては、手薄であった	看取りを経験した職員の精神的ケアと実施のための研修、と情報の蓄積	現状行っている、看取り、終末期に対する研修時、看取り後の職員側の精神的ケアも加えていく、実際の看取り後のカンファレンスをもとに、他の医療、介護側の看取り後のケアをどうしているか調べ、研修などで話し合い、嵯峨野CCとして蓄積していく	3ヶ月
2	35	災害時の対策は行っているが、停電時、暗闇の中、どのような動きが必要か、詳細なマニュアルがない、また実際、停電時の発電機の稼働状態はどうかの確認していない	停電時でも、お客様の安全確保と混乱せずに避難行う、また実際の発電機の稼働時間、稼働状態の確認	停電を想定した避難訓練を、年二回の消防訓練時に追加して行う、発電機については、管理者が定期的にメンテナンスしており確認、稼働時間により予備の発電機必要か確認、購入も考える	4ヶ月
3	49	コロナ禍の為にリスク回避、本社指示も含め、外部イベント外出、面会を自粛している、お客様の心身に悪影響が、考えられる	感染症対策確実に行いつつも外出など活力、楽しみの提供	ドライブであれば、車から出ずとも楽しめる、また、暖かくなれば、嵯峨野ケアセンターの庭は広いので、畑での作業、庭での食事など行えるので、施設全体として、お客様へ提供していく	2ヶ月
4	23	実際の、お客様個々の意向の聞き取りや思うの汲み取りが不足しており、職員の主観が、多くなっている	お客様この意向、思いを客観的に集めチームとして共有しサービスにいかす	日常の関わりでの情報をまとめ、生活歴、現状、お客様の思い、課題等からセンター方式等使用し蓄積し個人支援計画に反映しサービス提供し日々関わる	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。